



## 平成27年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年12月4日

上場取引所 東

上場会社名 モロゾフ株式会社

コード番号 2217 URL <http://www.morozoff.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 信二

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 尾崎 史朗

TEL 078-822-5000

四半期報告書提出予定日 平成26年12月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年1月期第3四半期の業績(平成26年2月1日～平成26年10月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第3四半期	17,856	△1.3	△382	—	△289	—	△245	—
26年1月期第3四半期	18,085	1.6	△237	—	△158	—	△189	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第3四半期	△6.76	—
26年1月期第3四半期	△5.22	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第3四半期	19,579	—	11,709	—	—	59.8
26年1月期	20,257	—	12,052	—	—	59.5

(参考)自己資本 27年1月期第3四半期 11,709百万円 26年1月期 12,052百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	0.00	—	4.00	4.00
27年1月期	—	0.00	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年1月期の業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	0.3	620	△22.8	630	△29.4	280	△40.4	7.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年1月期3Q	36,692,267 株	26年1月期	36,692,267 株
27年1月期3Q	448,652 株	26年1月期	442,167 株
27年1月期3Q	36,246,745 株	26年1月期3Q	36,253,168 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。業績予想に關しましては、2ページ【当四半期決算に関する定性的情報】(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
4. 補足情報 .....	6
販売実績 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に、緩やかな回復傾向にありましたが、消費税率引き上げに伴う需要の減少と円安による物価上昇の懸念もあり、個人消費の持ち直しの動きに足踏みがみられるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社はお菓子を通して心豊かな生活をお届けすることを基本姿勢とし、商品の開発・改善により売上向上に取り組むとともに、「すべてはお客様の笑顔のために」を基本とし、安心、安全かつ高品質な商品をお客様に提供し続けることに注力いたしました。

売上高につきましては、イベント商戦の成功、焼菓子の好調はあったものの、中元商戦の低調や夏季商品の売上減少が影響し、当第3四半期累計期間の売上高は17,856百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

損益面におきましては、原材料費の上昇などはありましたが、工場生産性の向上に努めたことにより売上原価率はほぼ前年同期並みとなりました。しかしながら、新規出店や改装などに伴う経費が増加したことにより、営業損失は382百万円（前年同期は237百万円の損失）、経常損失は289百万円（前年同期は158百万円の損失）、四半期純損失は245百万円（前年同期は189百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [洋菓子製造販売事業]

干菓子につきましては、バレンタインデーやホワイトデー、ハロウィーンなどのイベント商戦が成功し、9月にリニューアルした「ファヤージュ」などの焼菓子の売上も好調でしたが、消費税増税もあり中元商戦が低調に推移したことに加え、天候不順の影響により夏季商品の売上が芳しくなく、前年同期を若干下回る売上高となりました。洋生菓子につきましては、チルドデザート、チーズケーキなどが低調に推移し、前年同期を下回る売上高となりました。

その結果、当事業の売上高は16,483百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

#### [喫茶・レストラン事業]

喫茶・レストラン事業につきましては、イタリアンレストラン「阪神百貨店梅田本店 プォナパスタ」の新規出店、メニュー再編、集客イベントの開催などにより売上拡大を図りましたが、一部店舗の退店に伴う売上減少の影響もあり、売上高は1,372百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

#### (業績の季節的変動等について)

当社の売上高は季節的変動があり、バレンタインデー、中元、歳暮、クリスマスなどの大きなイベントが少ない第3四半期会計期間の売上高は、他の四半期会計期間の売上高と比べ減少する傾向にあります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ677百万円減少し、19,579百万円となりました。資産の増減の主なもの、受取手形及び売掛金の減少額3,057百万円、仕掛品の増加額722百万円、有価証券の増加額599百万円、現金及び預金の増加額338百万円、商品及び製品の増加額228百万円等であります。負債は前事業年度末に比べ334百万円減少し、7,870百万円となりました。これは主に長期借入金の減少額201百万円、電子記録債務の減少額150百万円等によるものであります。純資産は前事業年度末に比べ343百万円減少し、11,709百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少額390百万円等によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月17日に発表いたしました平成27年1月期の通期の業績予想について変更はございません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	784,492	1,122,736
受取手形及び売掛金	4,873,202	1,815,403
有価証券	1,700,885	2,300,652
商品及び製品	1,956,609	2,185,098
仕掛品	268,568	990,631
原材料及び貯蔵品	378,689	468,936
その他	239,466	569,820
貸倒引当金	△19,300	△7,200
流動資産合計	10,182,614	9,446,080
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,544,102	2,451,114
土地	3,234,337	3,234,337
その他(純額)	1,613,111	1,663,750
有形固定資産合計	7,391,551	7,349,202
無形固定資産	124,927	118,383
投資その他の資産		
投資有価証券	1,853,015	1,922,061
その他	705,533	743,924
貸倒引当金	△100	△100
投資その他の資産合計	2,558,448	2,665,886
固定資産合計	10,074,927	10,133,471
資産合計	20,257,541	19,579,552

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,769,927	1,720,894
電子記録債務	1,163,499	1,013,476
短期借入金	2,118,400	2,118,400
未払法人税等	197,044	141,864
賞与引当金	241,390	491,488
その他	1,276,453	1,026,466
流動負債合計	6,766,715	6,512,590
固定負債		
長期借入金	552,200	350,900
退職給付引当金	527,248	683,476
環境対策引当金	6,909	6,909
その他	351,946	316,184
固定負債合計	1,438,304	1,357,471
負債合計	8,205,019	7,870,061
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,737,467	3,737,467
資本剰余金	3,921,429	3,921,429
利益剰余金	3,907,416	3,517,383
自己株式	△115,640	△117,786
株主資本合計	11,450,672	11,058,494
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	344,925	394,071
土地再評価差額金	256,924	256,924
評価・換算差額等合計	601,850	650,996
純資産合計	12,052,522	11,709,490
負債純資産合計	20,257,541	19,579,552

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年10月31日)
売上高	18,085,293	17,856,351
売上原価	9,709,028	9,576,490
売上総利益	8,376,264	8,279,860
販売費及び一般管理費	8,613,268	8,662,365
営業損失(△)	△237,004	△382,505
営業外収益		
受取利息	2,915	2,420
受取配当金	20,436	24,562
利用分量配当金	62,576	59,039
その他	29,229	44,415
営業外収益合計	115,158	130,438
営業外費用		
支払利息	35,544	31,590
その他	1,382	5,442
営業外費用合計	36,926	37,033
経常損失(△)	△158,773	△289,099
特別利益		
固定資産売却益	38	3,749
投資有価証券売却益	—	31,075
特別利益合計	38	34,824
特別損失		
固定資産除売却損	31,094	18,366
減損損失	2,343	—
特別損失合計	33,437	18,366
税引前四半期純損失(△)	△192,171	△272,642
法人税、住民税及び事業税	99,831	108,497
法人税等調整額	△102,719	△136,107
法人税等合計	△2,888	△27,610
四半期純損失(△)	△189,283	△245,031

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 販売実績

当第3四半期累計期間の販売実績をセグメント別商品群別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年10月31日)	前年同四半期比 (%)
洋菓子製造販売事業計 (千円)	16,483,939	98.8
(内訳)		
干菓子群 (千円)	11,736,641	100.0
洋生菓子群 (千円)	4,133,440	95.6
その他菓子群 (千円)	613,857	98.7
喫茶・レストラン事業計 (千円)	1,372,411	98.0
合計 (千円)	17,856,351	98.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

洋菓子製造販売事業における主な製品を商品群別の区分により説明しますと、以下のとおりであります。

区分 (商品群)	主要品目
干菓子群	(チョコレート) プレミアムチョコレートセレクション、フェイバリット、りんごのチョコレート、ラウンドプレーン等。 (キャンディ) ファンシーキャンディ、ココアピーナッツ等。 (焼菓子) アルカディア、ファヤージュ、オデット、ティーブレイク等。 (デザート) ファンシーデザート、凍らせてシャーベット、フルーツオブフルーツ、白いチーズケーキ、カスタードプリン等。 (詰合せ) ハッピーパーティ、サマーロイヤルタイム、サマーイング等。
洋生菓子群	(チルドデザート) カスタードプリン、季節のプリン、季節のゼリー、カフェデザート等。 (ケーキ) チーズケーキ、チョコレートケーキ、ミニケーキ等。 (半生菓子) ブロードランド、アーモンドケーキ等。
その他菓子群	焼きたてクッキー、グラスオショコラ等。